

平成23年度技能検定 1級着付け（着付け作業）実技試験問題 概要

【1】試験の内容

【3】の持参品を使用して、人間モデルに中振袖（ふくら雀）の着付けを行う。

【2】試験時間

| | |
|----------------------------|-----|
| （検定委員による試験の説明5分） | |
| 持参品及び服装の点検のための準備 | 5分 |
| （検定委員による受検者の持参品及び服装の点検15分） | |
| 補整、長襦袢着付けのための準備 | 5分 |
| 補整、長襦袢着付け | 15分 |
| （検定委員による採点10分） | |
| 着物着付け、帯結び（草履まで） | 25分 |
| （検定委員による採点30分） | |

【3】受検者持参品

| | 名称 | 種類 | 数 |
|------------|---|---|---------------------|
| モデル | 人間モデル | 女性 | 1 |
| 準備品 | 着物 | 中振袖（袷） 袖丈は、モデルの身長に合わせたもの（目安として95cm～115cm位）。 | 1 |
| | 伊達衿（比翼衿も可） | 無地 地紋、金又は銀は可であるが、スパンコールや刺繍などの装飾加工をしたもの又は二色使いのものは不可。 | 1 |
| | 長襦袢 | ツーピース、衣紋抜き布付、紐通し付又は紐付は不可。 衿は、広衿、ばち衿又は棒衿。 | 1 |
| | 半衿 | 白無地の塩瀬 | 1 |
| | 衿芯 | 素材は自由。 | 1 |
| | 帯 | 袋帯（六通又は全通） | 1 |
| | 帯締め | 飾り物は不可。 | 1 |
| | 帯揚げ | 素材は自由。 | 1 |
| | 肌着 | 肌襦袢、裾よけ。 ワンピースは可。 | 1 |
| | 腰紐 | 布製 | 6本以内（6本のうち1本は三重返紐可） |
| | 羽根用ゴム紐 | 持参は自由。 輪ゴムは不可。 | 2本以内 |
| | 伊達締め又は伊達巻 | 布製 金具付又はゴム入りは不可。 | 2本以内 |
| | 帯板 | ゴム付は不可。 | 2枚以内 |
| | 帯枕 | 窓枠なし ガーゼ付は可。 | 1 |
| | 補整用タオル、ガーゼ、コットン | タオルは大き過ぎないもの（目安として35cm×85cm位まで）。 ガーゼを2つ折りにして巻いてくることは可であるが、タオル、ガーゼ及びコットンをカット等加工して持参することは不可。 | 自由 |
| | クリップ | 持参は自由。 目盛付の場合は、目盛をテープ等で隠すこと。 | 5個以内 |
| | ソーイングセット | 持参は自由。 | 1 |
| | 衣裳敷 | たとう紙 | 1 |
| | 衣裳箱又は風呂敷 | 形は自由。 | 1 |
| | 草履 | 布製又は皮製（爬虫類は不可） | 1 |
| 足袋 | 白無地 | 1 | |
| 浴衣又はガウン | 形は自由。 浴衣又はガウンに使用する紐は、腰紐の本数（6本以内）に含まれる。 | 1 | |

上記のもの以外は、持参しないこと。
 持参品で違反があった場合は、受検できない場合があります。
 着物、伊達衿（又は比翼衿）及び長襦袢の衿とじは、試験場に入るまでに行ってくること。